

## 第4回 橿原市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会 議事録

日時 : 平成28年2月29日(月) 14:00~15:10  
場所 : 大和信用金庫八木支店3階会議室  
出席者 : 森本委員(会長)、米田委員(副会長)、野原委員(植田委員代理)、田中委員、中南委員、大城委員、細川委員、入口委員、山田委員  
欠席者 : 木田委員

### 1. 開会・挨拶

#### ・事務局

只今より、第4回橿原市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会を開催いたします。本日進行役を務めさせていただきます、橿原市企画政策課長の庵坂でございます。どうぞよろしくお願いいたします。開催にあたりまして、資料を事前にお送りさせていただいておりますが、お手元にありますでしょうか。

本日、ハローワーク大和高田所長の木田委員と日本の寺子屋理事の植田委員が欠席されておられます。植田委員の代わりに事務局長の野原委員が出席されていますので、ご了承願います。また、議事録を作成するため、会議の録音をご了承願います。

本日は、傍聴の方がいらっしゃいますので、許可してもよいでしょうか。

(策定委員 了解)

(傍聴人入場)

会議の開催にあたり、策定本部長である岡崎益光副市長よりご挨拶申し上げます。

#### ・副市長

委員の皆様方におかれましては、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。本日は第4回目の総合戦略策定委員会です。今回はパブコメ前の橿原市人口ビジョン(案)と総合戦略(案)をご審議いただきましたことで、無事にパブリックコメントも開催することができました。今回は最終的な橿原市人口ビジョン(案)と総合戦略(案)等を提示させていただき、皆様のご意見をお伺いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### 2. 議事

#### ・森本会長

橿原市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。委員の皆様におかれては、公私ご多忙のなか、ご出席賜りありがとうございます。前回の委員会では、素案としての人口ビジョンと総合戦略について審議いた

き、皆様から貴重なご意見をいただきました。いただいたご意見を基に修正を行い、1月27日から2月10日までの約2週間、パブリックコメントを実施しました。本日は、パブリックコメントで出された人口ビジョン（案）と総合戦略（案）を審議いただき、修正、加筆を加えて作り上げたいと考えています。

本日は、最後の委員会です。昨年11月から委員会を開催し、審議を重ねてきましたが、本日も皆様方から貴重な率直なご意見を賜りたいと考えております。

最後に、委員の皆様にご協力をお願い申し上げます。簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。

#### （1） 檜原市人口ビジョン（案）について

##### ・ 森本会長

本日は、パブリックコメントを受けた檜原市人口ビジョン（案）と創生総合戦略（案）について審議します。いただいたご意見は、事務局にて検討、調整を行い、冊子として完成させる予定です。

事務局より、説明をお願いします。

##### ・ 事務局

資料1、2に基づき説明（省略）

##### ・ 森本会長

ご意見、ご質問をお願いします。

##### ・ 細川委員

資料2の5頁目のコメントの4つ目に、削除したことを表す二重線「＝」が残っています。同じく12頁のコメントの2つ目にも、二重線が残っているため、修正をお願いします。

##### ・ 事務局

ご指摘のとおり修正いたします。本日お示しの資料については、先日開催されました檜原市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定本部会議と、本日の檜原市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会でのご意見を踏まえて、修正を予定しております。尚、策定本部会議において、資料2 檜原市人口ビジョン（案）の7～9ページの転入、転出の色を使い方に対するご意見があり、市としての統一的な見解として、転入を青、転出を赤に統一することを考えております。他には、目次の「1 人口ビジョンの策定にあたって」を、本文に合わせるように考えております。その他についても同様の訂正を行いたいと考えております。

- ・森本会長

他にご意見はありませんか。特にないようなので、次の案件に移ります。

(2) 檀原市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について

- ・森本会長

事務局より、説明をお願いします。

- ・事務局

資料に基づき説明（省略）

- ・森本会長

ご意見、ご質問をお願いします。

- ・入口委員

今後、PDCAサイクルによって見直すことになると思いますが、このようなアンケートは毎年実施するのですか。データを積み上げると、5年後に非常に役に立つと思います。今後のアンケートの継続の予定を教えてください。

- ・事務局

以前にも説明させていただきましたように、このような5年間の計画においては、その中間年度と最終年度にアンケートを行うのが一般的です。尚、この総合戦略の数値目標やKPIを、アンケート結果を基に設定しており、こちらについては今後検証を行います。それ以外についても必要に応じて行います。但し、総合戦略の最終年度までに数値が出ないケースもあるため、場合によっては、最終年度の翌年度にアンケートを実施することで、KPIの確認を行うことも考えられます。

- ・入口委員

アンケートは、市民向けと転出者向けの2種類あります。市民アンケートは、中間年度と最終年度の実施でよいですが、転出者アンケートは、できれば毎年行ったほうがよいと思います。転出者の意見やデータは大変役に立つと思いますが、いかがですか。サンプル数は別として、あまり経費がかからない範囲で工夫して、転出者アンケートを行ってはどうでしょうか。

- ・事務局

今回は「転出者アンケート」という形で郵送して実施しましたが、これ以外に市民課

窓口で、転出者に転出理由などのアンケートを実施しております。今回のようなアンケートは、先ほど説明したように、機会をとらえて行う予定です。

・米田委員

アンケートは、郵送が一般的なのですか。

・事務局

その通りです。

・米田委員

郵送で行うアンケートと市民課で実施している転出者アンケートとでは、結果に違いはあるのですか。

・事務局

大きな違いはありません。転出者の生の声を聞かせていただくことを目的に、市民課で実施しています。

・細川委員

資料3の31ページ「MBT構想」で、「医学が暮らしの中に」から始まる文章の最後につくべき閉じ括弧がありません。「まちづくり」の後か、「まちづくりを目指した構想」の後につくののだと思いますが、括弧を削除してもよいと思います。

用語集の32ページ「産官学連携」は、7ページ「土産物やグルメの開発やPR支援」の中にある「産官学連携」、33ページ「大学サテライト（まちなかラボ）」では、「産学官連携」と、「官」と「学」の順番が入れ替わっています。統一したほうがよいと思います。国は、ここ最近30年ほどは「産学官連携」を使っています。橿原市が他の文書で「産官学連携」としているなら、それで統一したほうがよいですが、日本全体での表現に統一するなら、「産学官連携」にするのがよいです。

・事務局

ご指摘のとおり修正いたします。先ほどの説明について、補足させていただきます。25ページのKPI「めざす値（H31）」について、「コミュニティバスの利用者数」は「39,260人」、「超小型モビリティレンタカーの利用者数」は「720人」となっていますが、2月23日開催の策定本部会議において、「数値を丸めてはどうですか」というご意見がありました。本日の資料では修正させていただいておりませんが、「コミュニティバスの利用者数」は、「39,300人」、「超小型モビリティレンタカーの利用者数」は、「800人」に修正する予定です。また、人口ビジョン（案）と同様に、目次と本文が合

っていないところについても修正させていただきます。

・中南委員

13ページ「スポーツ施設を活用した来訪者誘致活動の展開」についてです。最近の動向として櫃原運動公園や県立櫃原公苑建て替えの話が出ていますが、県はまだ白紙状態と聞いております。日本は国際基準を満たす競技場が少ないため、もし櫃原市が関与できるならば、国際大会も可能な競技場の新設をお願いしたいと思っております。世界クラスのトップアスリートを呼ぶことができるならば、近隣各県からファンはもちろん学生、生徒が集まってきます。また、世界クラスのトップアスリートから櫃原の魅力の発信やスポーツと周辺の観光を組み合わせたツアーの造成もどうかと思います。スポーツだけでなく、飛鳥地方や藤原京にも来ていただける観光の仕組みづくりをすることで、ホテルの活用にも繋がると思います。そのような観点で櫃原運動公園や県立櫃原公苑の建て替えに注目しています。

・事務局

只今のご意見はそのとおりだと思います。今後スポーツをどのように向上させ、どのように子どものスポーツ能力をどのように上げるかについては、喫緊の課題として受け止めています。但し、本市には県立の施設がとても多く、市の施設と同じように体育館や陸上競技場などあります。ぜひ国際的規模の大会も櫃原市に誘致したいと思っております。施設の整備については、分かりやすい・使いやすい櫃原市の施設を目指して県と相談しながら進めていきたいと考えております。

・大城委員

資料3の35ページ「ライフプラン」の最後の言葉が、「である」となっているので、ですます調に統一をお願いします。

資料5の34ページ『「本市に対する不満」の回答として「子どもの遊び場等の充実」』、35ページ『「本市に住むための条件」の回答として「子育て環境の充実」』、36ページ「子育て・教育環境に関する意見」を拝見しますと、不満点や改善要望があると感じられます。将来の人口ビジョンの将来展望を達成するためには、若い世代が近隣の市町村から櫃原市に転入してもらわなければ、人口維持や人口減少を最小限に抑えることが難しいです。近隣市町村と比較して、子育て支援に対する充実している点や不足している点を考えていただきたいと思います。子育て支援はサービスの性質上、評価しにくい、効果が見えにくい、数値に現れにくい難しさがあると思いますが、アンケートの自由回答の質的な面から、良い点、改善すべき点を汲み取って、よりよい子育て支援に繋げていただきたいと思います。

・事務局

アンケートで子育てに関してこのようなご意見をいただいていることから、施策のPR不足を感じています。量的なものに関しては、かなり充実してきていると思いますので、今後しっかりPRしていきたいと思います。子育てサークル等への支援も行っているため、そのようなところも活用して、口コミで広げていきたいと思います。子育て支援が年齢ごとに途切れるのではなく、今後は結婚、妊娠、出産、子育てで、一貫した支援を行っていききたいと考えています。

・細川委員

資料3の32ページ「檀原市版CCRC」についても、ですます調で統一したほうがよいです。

・事務局

只今のご意見を受けて、他も再度見直して、きちんと修正します。

・入口委員

只今、委員からの質問と事務局とのやり取りを聞いて思ったのですが、資料5の自由回答で主な意見に対する回答は、ホームページなどで公表する予定はあるのですか。事務局からPRが足りないという回答がありましたが、現在実施の施策を掲載することで、市民に知っていただくことができると思います。また回答することで次の意見が出てくるかもしれませんし、それにより施策が増えていくなど、ポジティブにとらえることも検討してはどうかを思います。

・事務局

資料1のパブリックコメントは、後日公表を予定しております。ご指摘のアンケートの自由回答は主な意見を取り上げていますが、すべてが回答できるものではありません。ただ、回答内容を精査し回答有無を含め、今後の市政の参考にさせていただきたいと考えております

・田中委員

どのように発表されますか。このような冊子やパンフレットは硬い感じがしてなかなか読まないと思うので、例えば施策ごとに掲載する等、市民に分かりやすい説明を行う手段を考えてはどうかと思います。またポスターを作るのもよいと思います。市政に対する情報を市民が知らないこともありえますので、広報などでギャップを埋めることが大切だと思います。

・事務局

今後の進め方としては、3月定例会市議会で説明を行い、その後ホームページ等への掲載を予定しております。また概要版を作る等、市民に分かりやすくお見せできるように検討していきたいと考えています。

・山田委員

自由回答の記載について誤解を招く内容も含まれていますので、内容は変えずにもう少し穏やかな表現に変えたほうがよいのではと思います。例えば、「警官をみかけることがほとんどなく」、「橿原市には、急性期病院がない」、「現状では子どもを行かせたいと思う学校がない」など、非常に極端なご意見があります。「子どもを〇〇のような学校に行かせたい」とか、「学校教育の充実を望む」のような表現ができればよいと思います。「道を譲っても挨拶もなく、高圧的」と感じているのかもしれませんが、行政文章として、アンケート結果をそのまま掲載することには懸念があります。

・事務局

ご指摘のように、記載内容を精査させていただきます。

・野原委員

私は、9か月前に東京からこちらに引っ越して来ました。引っ越してきた当初、大和八木駅周辺を見学して感じたことは、「このまちは住んでいる人にとって様々な病院や施設などが揃っていてすばらしいが、外から来た者に対して用意されたものが何もない」ということでした。例えば、大和八木駅周辺に子どもが通う学習塾がありますが、交通手段が少ないので送り迎えの保護者が多いなど、とても不便を感じました。

様々な資料に目を通してみると、出生率が1.27と全国平均と比べて低いことや、出産で家庭に入った若い女性が職場復帰する割合も60%くらいと、全国でも下から2～3番目であることを知りました。現在、私は今井町に住んでおり、子どもを通して地元の人たちから様々な話を聞いております。東京と異なり保育園に入れたい方は少ないが、私立と公立では圧倒的に私立の幼稚園や保育園に通っている子どもが多く、毎日保護者の送迎や経済的には大変だという話もよく聞きます。このように、指標が全国平均より低いということに皆さんが素直に目を向けて、少しでも改善できるように地道な努力を行うことが必要だと思います。

国の長期ビジョンをみると国の合計特殊出生率1.8は、奈良県の合計特殊出生率1.27から考えると到底達成できる数値ではないと思います。そのような中で、様々な施策を行うことで、少しでも改善できるように努力することが必要だと思います。

・森本会長

ありがとうございました。市外から移住され市内に住んでおられるという観点で、参

考になるご意見だったと思います。

・野原委員

私は人口 12 万人弱の台東区浅草から引っ越してきました。台東区は外から来る人に対して様々な施策が考えられていますが、同じ人口規模である橿原市は、それが感じられず寂しい思いをします。例えば、3時間で市内観光を行うとしても交通手段が少なく、タクシーなどを使うと大変お金がかかります。また、公共施設の利用についても東京と同じく橿原市も様々な施設がありますが、利用しにくいです。私もほとんど使っていません。一部の施設にバスがありますが、車がないと利用しにくい場所にあります。一見便利そうな駅周辺にあるものも、周りから交通機関からの行きやすさを考えてもらいたいと思います。

(3) その他

・森本会長

事務局より、説明をお願いします。

・事務局

本日も貴重なご意見をありがとうございました。本日のご意見を踏まえ、各分科会及び担当課と協議して、最終案としての橿原市人口ビジョン（案）と橿原市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）を作成したいと考えております。その後、広報誌やホームページ等で市民に周知したいと考えています。

・森本会長

昨年 11 月に第 1 回目の委員会を開催してから本日まで貴重なご意見をいただきました。今後、最終的に事務局にてどのようにまとめていただけるかを楽しみにしています。

この計画が、今後の橿原市の良さが随所に現れるようなものになればよいと思っています。また、この計画を出した後は、今後の出発点として、橿原市が、市民と行政が共同して、明るい中南和の拠点都市として、ますます地方創生の実現に進んでいくことを期待しています。委員の皆様のご協力で、まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会を無事に進められたことにお礼を申し上げまして、本委員会を閉会します。

3. 閉会

以上